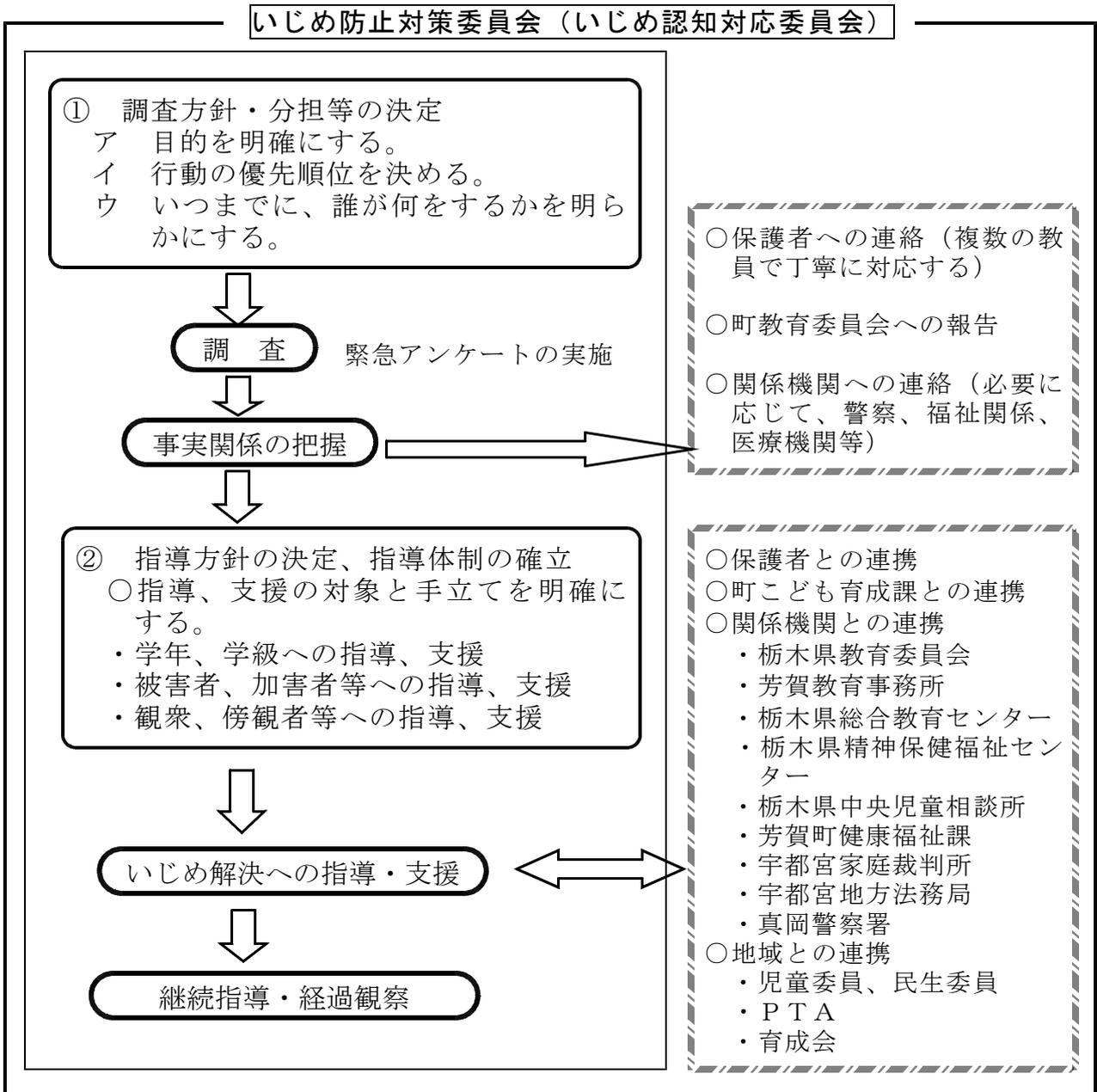
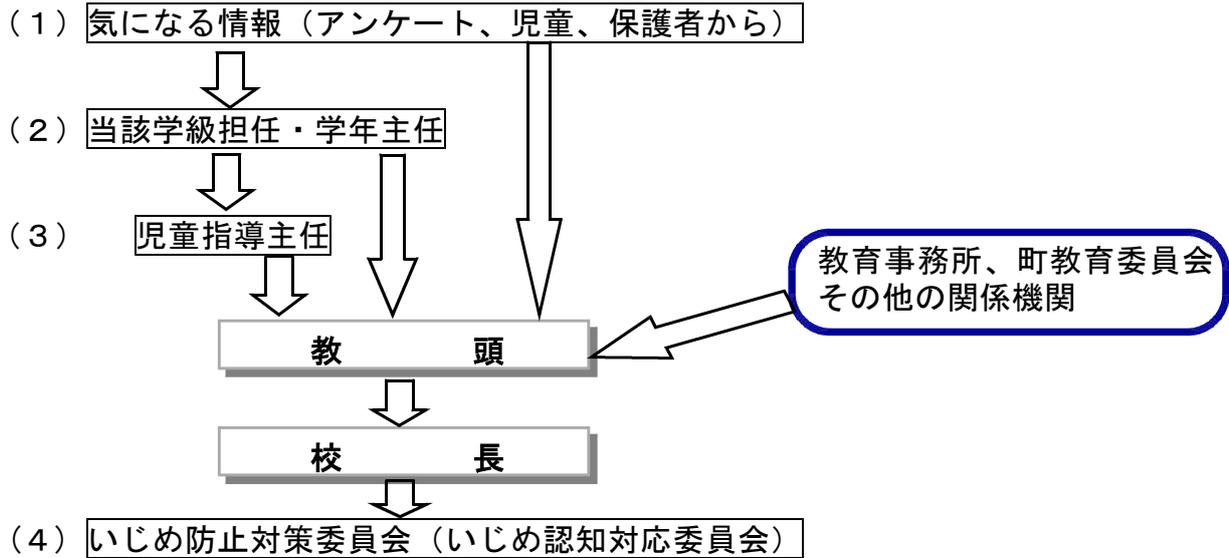


資料1 いじめ対応の基本的な流れ



資料2 年間指導計画

月	実施する内容	定期的実施
4	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回「いじめ防止対策委員会」→→→基本方針の確認、改善 ○「いじめ防止基本方針」「児童指導全体計画」「よい子の一日」についての共通理解（職員会議） ○「いじめ防止基本方針」についての説明（PTA総会、保護者会） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学校での取組の情報提供 ・学校だより等
5	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭訪問での「いじめ」についての情報収集→→情報の共有 ○「当初面談」での取組の確認と改善 ○Q-Uの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇学業指導の充実 ・帰属意識の高い学級づくり ・自信をもたせる授業づくり
6	<ul style="list-style-type: none"> ○「教育相談」での実態把握（1回目）→→→情報の共有 ○学校評議員会議での説明と協力依頼（情報の共有） ○Q-Uの結果を生かした教育相談 ○いじめについてのアンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ◇職員会議での情報共有
7	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校評価（内部評価）」と「いじめへの取組」の評価 ○個人懇談による「いじめ」についての情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ◇早期発見への対応
8	<ul style="list-style-type: none"> ○第2回「いじめ防止対策委員会」→→→個人面談で得た情報からの問題の洗い出しと共通理解事項の確認と改善 ○いじめについての研修会 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自尊感情を高める取組 ・帰りの会等によるよさを認める場の設定
9	<ul style="list-style-type: none"> ○職員会議後の情報交換と共通理解 	
10	<ul style="list-style-type: none"> ○職員会議後の情報交換と共通理解 ○いじめについてのアンケート 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uの実施 ○「教育相談」での実態把握（2回目）→→情報の共有 ○「人権教育」についての研修を実施（現職教育） ○「保護者アンケート」や「児童アンケート」からの情報の収集と共有 	
12	<ul style="list-style-type: none"> ○Q-Uの結果の分析、改善への手立て（教育相談） 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校評価（内部評価）」と「いじめへの取組」の評価 ○第3回「いじめ防止対策委員会」→→→「保護者アンケート」や「児童アンケート」からの問題の洗い出し ○共通理解事項の確認と改善 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○「期末面談」での取組の確認 ○学校評議員会議での情報交換、協議 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ○第4回「いじめ防止対策委員会」→→→「いじめ防止基本方針」の見直しと改善（次年度に向けて） ○小中学校連絡会（卒業児童の情報交換と適切な引き継ぎ） 	

資料3 確認事項

1 いじめられている子のサイン

いじめられている児童は、自分から言い出せないことが多い。多くの教師の目で、多くの場面で、児童の様子を観察し、児童が発する「小さなサイン」を見逃さず、発見するために、以下のサインに注意する。

サ イ ン

■登校時・朝の会

- 遅刻・欠席が増える。
- 始業時刻ぎりぎりの登校が目立つ。
- 教師と視線が合わず、うつむいている。
- あいさうをしなくなる。
- 体調不良（頭痛、腹痛、吐き気）を訴える。
- 欠席・遅刻・早退等の理由を明確に言わない。
- 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。
- 担任教師が教室に入室後、遅れて入室する。

■授業中

- 保健室、トイレに行くようになる。
- 忘れ物が目立つ。
- 用具・机・椅子等が散乱している。
- 決められた座席と違うところに座っている。
- 正しい答えを冷やかされる。発言すると周囲がざわつく。
- 教科書、ノート等に落書き、汚れがある。
- 授業中ぼんやりしていて作業が続かない。
- 他の子供から発言を強要される。突然個人名が出される。
- グループ分けで孤立する。グループ活動で話しかけられない。
- 球技の際にパスされなかったり、パスが集中したりする。

■昼食時・休み時間・清掃

- グループを作ろうとしない。グループを作っても隙間がある。
- 食べ物にいたずらをされる。（盛りつけない、多く盛りつける、意図的に配り忘れるなど）
- 片付けを一人でしている。
- 休み時間に席を離れないようにしている。
- 訳もなく階段や廊下を歩いていたたり、用もないのに職員室や保健室に来たりする。
- 遊びと称して友達とふざけあっているが、表情がさえない。
- 一人で離れて掃除をしている。
- 衣服が汚れていたり、濡れていたりする。

■帰りの会・放課後・下校時

- 帰りの会に遅れて来る。
- 配布したプリント等が渡らない。
- 靴やかばん、傘、物の紛失が多い。
- 下校時に、友達に荷物をもたされている

2 いじめている子のサイン

次のような言動が見られるときは、いじめが進んでいる可能性がある。いじめている児童がいることに気付いたら、児童の中に積極的に教師が入り、コミュニケーションを増やし、状況把握をするために、以下のサインに注意する。

サ イ ン

- 教室や廊下、階段で仲間同士集まり、ひそひそ話をしている。
- ある児童に、周りが異常に気を使っている。
- 発言に対して、他の友達と顔を合わせて笑ったり、さげすんだように反応したりしている。
- 仲間にだけ分かるようなサインや隠語を使っている。
- 教師が近づくとグループの児童が急に仲のよいふりをしたり、または、不自然に分散したりする。
- 自己中心的な言動が目立ち、ボス的な存在の児童がいる。

3 教室でのサイン

学級の雰囲気によっては、教室内がいじめの温床となる場合がある。特にいじめを助長する観衆、傍観者が多い学級では、以下のようなサインが強く表れる。

こうしたときには、学級におけるいじめの存在を強く意識し、教師が教室にいる時間を増やし、以下のようなサインを見逃さないように注意する。

サ イ ン

■ 雰囲気

- 嫌なあだ名が聞こえる。
- 発言に対してやじや冷やかしが聞こえる。
- 席替えなどで、隣になるのを嫌がる。
- 何か起きると特定の子供の名前が出てくる。
- ルールを守らない子供が多い。
- 配布したプリントが渡っていない。
- 特定の児童の机や椅子が運ばれない。
- 周囲の児童が、机や椅子を離して座ろうとする。

■ 環境

- 掲示物へのいたずら、落書きがある。
- 嫌がらせの手紙や紙切れがある。
- 机にいたずらがあったり、持ち物がなくなったりする。

4 家庭でのサイン

いじめられている児童は、家庭でも多くのサインを出す。以下のようなサインが家庭で見られたら、速やかに学校と家庭との連携が図れるよう、日頃から保護者に呼びかける。

サイン

■日常生活

- 口数が少なくなり、学校や友達のことを話さなくなる。
- 友達や学級の不平不満を口にするが多くなる。
- 朝、なかなか起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。
- 友達からの電話に出たがらなかったり、遊びの誘いを断ったりする。
- 無言等の不審な電話がかかってきた。
- 急に友達が変わる。
- 部屋に閉じこもり、考え事をしたり、家族とも食事をしたがらなかったりする。

■服装・身体・体調

- 理由のはっきりしない衣服の汚れや破れがある。
- 理由のはっきりしないすり傷や打撲のあとがある。
- 登校時間が近付くと頭痛や腹痛等の症状を訴える。
- 食欲不振、不眠を訴える。

■学習

- 学習時間が減ったり、宿題や課題をしなくなったりする。
- 成績が下がる。

■持ち物・金品

- 持ち物（学用品や所持品）がなくなったり、壊されたり、落書きされたりしている。
- 家庭から品物、お金がよくなくなる。
- 用途のはっきりしないお金を欲しがる。